

第27回

奈良高次脳機能障害 リハビリテーション講習会

テーマ「発症から社会参加に向けて－その過程－」

交通事故などで頭を怪我したあと、傷は治ったけれど、記憶ができない、ちょっとしたことですぐに怒る、あるいは病院を退院して仕事に戻ったけれど以前できていたことができない、などということはありませんか？何だか以前とは様子が違う、性格が変わってしまった。

これらは脳の損傷による、『高次脳機能障害』という後遺症です。

『高次脳機能障害』について、考えてみましょう。

実行委員長 西大和リハビリテーション病院 森本 茂

日時

2026年

11月

1日

日

13:00～16:30（開場12:30）

場所

奈良公園バスターミナル レクチャーホール ※ 配信はありません

内容

第1部 講演「高次脳機能障害の基礎知識」

講師：村井俊哉先生

京都大学医学研究科 脳病態生理学講座

精神医学教室 教授

第2部 講演

「病院退院後、障害サービスへの繋がり」

講師：中岡孝司さん

青葉仁会奈良西相談支援センターポラン所長、

主任相談支援専門員

第3部 鼎談

「『障害サービス何が使える？』 一問一答」

中岡孝司さん

河地睦美さん

当事者家族

高次脳機能障害支援コーディネーター

奈良高次脳機能障害友の会あすか会員

申込必要

（10月20日まで）

参加費無料

申し込みフォーム



高次脳機能障害の主な症状

（症状の重複あり）

厚生労働省の高次脳機能障害支援モデル事業報告書より

記憶障害

90%

注意障害

82%

遂行機能障害

75%

対人関係が
うまくいかない

55%

感情コントロール
障害

44%

主催：奈良高次脳機能障害リハビリテーション講習会

共催：奈良高次脳機能障害友の会あすか

後援：奈良県、奈良市、（一社）奈良県医師会、（公社）奈良県看護協会、奈良県立医科大学、（独法）奈良県立病院機構奈良県総合リハビリテーションセンター、

（社福）奈良県社会福祉事業団奈良県障害者総合支援センター、西大和リハビリテーション病院、独立行政法人国立なら医療センター、

奈良新聞、毎日新聞奈良支局、朝日新聞奈良総局、読売新聞奈良支局、産経新聞社、奈良テレビ放送